

2. 火山の概況

(平成18年7月14日 ~ 平成18年7月20日)

【噴火が観測された火山】

今期間は、噴火が観測された火山はなかった。

【活動が活発もしくはやや活発な状態である火山】

雌阿寒岳[やや活発な状況]: ポンマチネシリ山頂の赤沼06火口群や北西斜面06噴気孔列で噴煙活動のやや活発な状態が続いている。

十勝岳[やや活発な状況]: 62-2火口では高温状態が続いていると推定される。

樽前山[やや活発な状況]: A火口及びB噴気孔群の高温状態が続いていると推定される。

浅間山[やや活発な状況(レベル2)]: 噴煙活動のやや活発な状態が続いている。

三宅島[やや活発な状況]: 噴煙活動は活発で、多量の火山ガスの放出が続いている。

阿蘇山[やや活発な状況(レベル2)]: 中岳第一火口内では熱活動のやや活発な状態が続いていると推定される。

桜島[活発な状況(レベル3)]: 火山性地震や微動のやや多い状態が続いている。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]: 火山性地震のやや多い状態が続いている。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]: 火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いているが、今期間は少なかった。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]: 火山性連続微動が観測された。



1 本資料中で記したレベルとは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルを言う。

2 記号の意味

●: 噴火した火山

○: 活動が活発もしくはやや活発な火山

○: 静穏な状態だが観測データに変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山等の丸付き数字: 火山活動度レベル

3 記事は、○、●(注2参照)に該当する火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。：噴火が観測された火山。：活動が活発もしくはやや活発な状態である火山。：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

雌阿寒岳 【やや活発な状況】

ポンマチネシリ山頂の赤沼06火口群や北西斜面06噴気孔列の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上100~200mで推移した。火山性地震は1日あたり5回以下で推移し、地震活動は低調な状態が続いている。火山性微動は観測されなかった。GPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

十勝岳 【やや活発な状況】

62-2火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上100~200mで推移した。噴煙の活動に特に変化はみられていないことから、同火口の熱活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。地震活動は低調な状態が続いており、GPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

樽前山 【やや活発な状況】

A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、これらの火口の熱活動にも大きな変化はなく、依然として高温の状態が続いていると推定される。地震活動は低調な状態が続いており、GPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

浅間山 【やや活発な状況(レベル2)】

山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上100~300mで推移した。今期間、火映は観測されなかった。

火山性地震の回数は1日あたり7~13回とやや少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。傾斜計及びGPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

三宅島 【やや活発な状況】

山頂火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上200~300mで推移した。

14日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり900~1,400トン(前回6月29日1,000~1,400トン/日)と依然として多量の火山ガスの放出が続いている。

火山性地震の回数は1日あたり16~71回とやや多い状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。GPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

阿蘇山 【やや活発な状況(レベル2)】

中岳第一火口内の熱活動は、降雨の影響により湯だまり¹⁾の状況に消長が見られるものの、やや活発な状態が続いていると推定される。

火山性連続微動の振幅は小さい状態が続いている。孤立型微動および火山性地震の発生状況、噴煙活動、地殻変動等その他に特段の変化はなかった。

1)活動静穏期中岳第一火口内には、地下水などを起源とする約50~60の緑色のお湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいる。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度の上昇や湯量の減少がみられ、その過程で湯だまり内で熱湯が沸き上がる噴湯現象や土砂を噴き上げる土砂噴出現象が起こり始めることが知られている。

桜島 【活発な状況(レベル3)】

今期間、噴火は発生しなかった。

火山性地震および火山性微動はやや多い状態が続いている。GPSなどによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

薩摩硫黄島 【やや活発な状況(レベル2)】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上概ね 200m で推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。火山性微動は少ない状態で経過した。

口永良部島 【やや活発な状況（レベル2）】

昨年7月以降、火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。今期間、火山性地震の回数は1日あたり0～3回と少なく、火山性微動は観測されなかった。監視カメラ（新岳の北西約4kmに設置）による観測では噴気等は認められなかった。

諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

今期間、噴火は発生しなかった。15日～19日に火山性連続微動が時々観測された。火山性地震は少ない状態で経過した。

